

1 令和元年中の青森県内における交通事故発生状況(総括)

【交通事故発生状況】

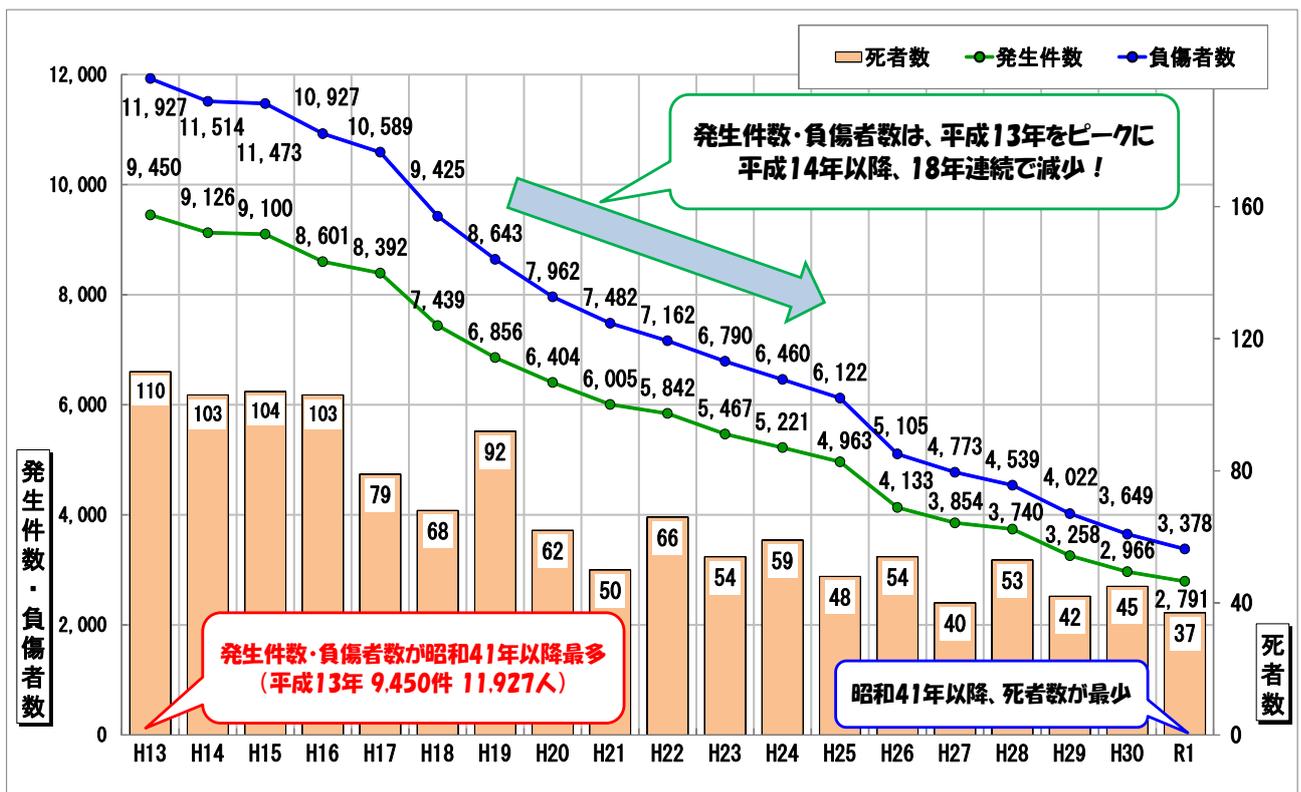
- 発生件数 2,791件 (前年比 -175件、- 5.9%)
- 死者数 37人 (前年比 - 8人、-17.8%)
- 負傷者数 3,378人 (前年比 -271人、- 7.4%)

※ 死者数については、現在の統計方法となった昭和41年以降最少

【令和元年中の交通死亡事故(37件37人)の主な特徴】

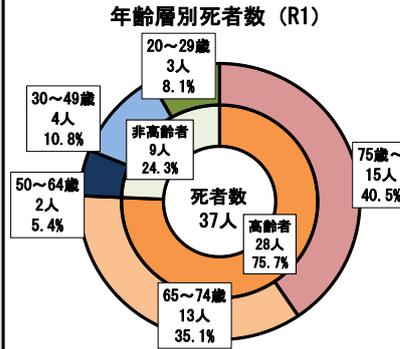
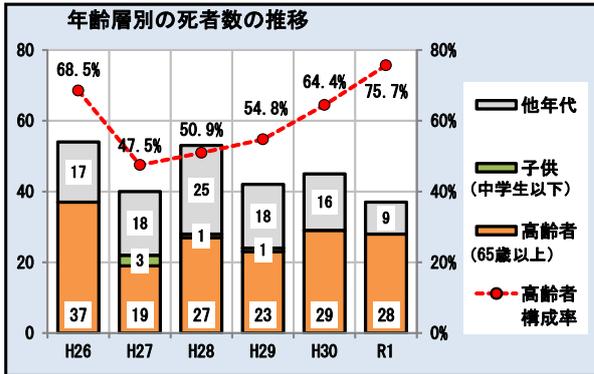
- 死者37人中、高齢者の死者は28人(前年比-1人)で、75.7%を占めた
- 歩行中の死者11人(前年比-5人)中、高齢者の死者は9人で81.8%を占めた
- 歩行中の死者11人中、何らかの違反が認められた死者は9人(前年比-4人)で81.8%を占めた
- 自動車乗車中の死者19人(前年比-2人)中、シートベルト非着用者が10人(前年比-1人)で52.6%を占めた

2 交通事故発生状況推移



### 3 交通死亡事故 (37件37人) の主な特徴

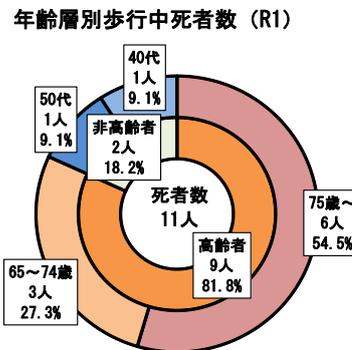
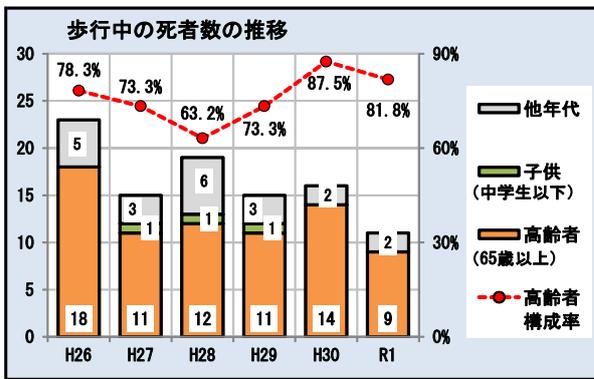
(1) 高齢者の死者は28人で、全体の75.7%を占めた。



○ 高齢者の死者は、28人であり、全死者の75.7%を占め、直近5年と比較して最も高い。

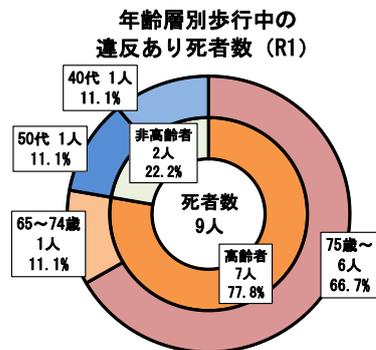
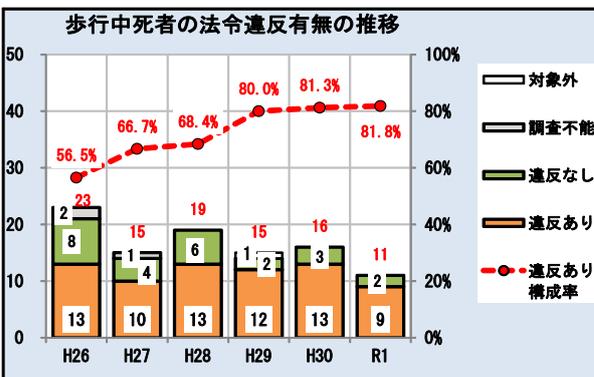
<全国平均>  
(令和元年中、55.4%)

(2) 歩行中の死者11人中、高齢者が9人で81.8%を占めた。



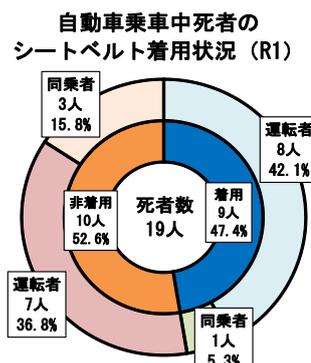
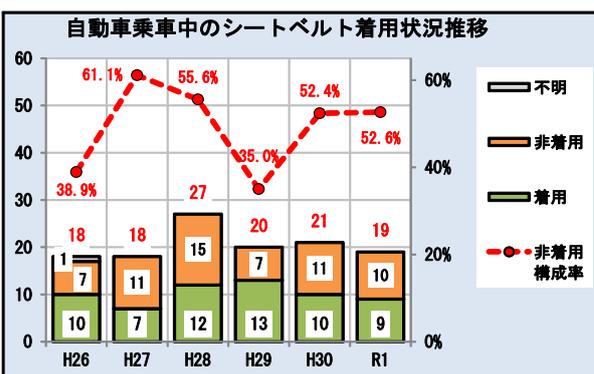
○ 歩行中の死者は11人であり、前年よりも5人減少した。高齢者が占める割合は、81.8%であった。

(3) 歩行中の死者11人中、9人に何らかの違反が認められ、81.8%を占めた。



○ 歩行中の死者11人のうち、何らかの違反が認められたのは9人であり、そのうち高齢者が占める割合は77.8%であった。

(4) 自動車乗車中の死者19人中、シートベルト非着用者が10人で全体の52.6%を占めた。



○ 自動車乗車中の死者は19人であり、前年から2人減少した。そのうちシートベルト非着用者は10人で52.6%を占めた。